



目次

生産現場情報	： 営農管理システム『Z-GIS』の利用者が増えています！	P1～4
営農支援情報	： 大規模農家の皆様へお得なご提案！『担い手直送規格農薬』のご紹介	P5～6
ご紹介	： 「あきたこまち40周年記念感謝祭」＆「全農フェスタ2024」 「フードバンクあきた」へ秋田県産食材を贈呈	P7 P8
お知らせ	： はじめようスマート農業キャンペーン	P9

生産現場情報

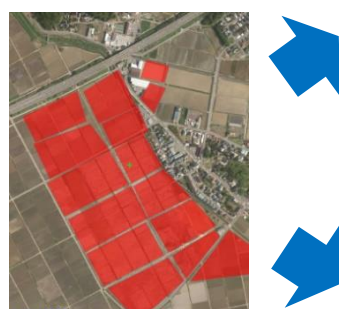
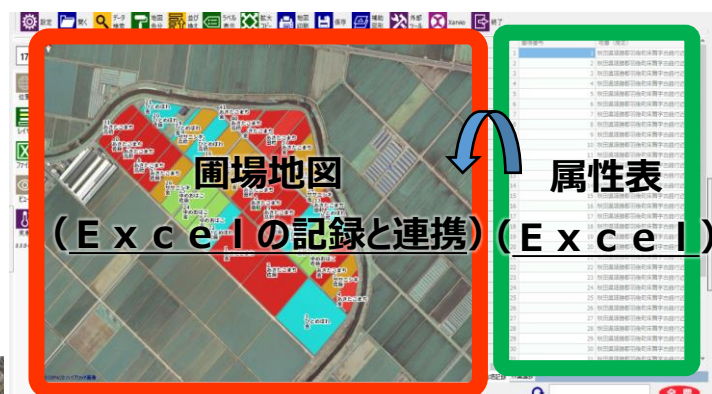
営農管理システム『Z-GIS』の利用者が増えています！

1. Z-GIS とは？

圃場情報をインターネット上の電子地図と連携することで、効率的な営農管理を行うシステムです。

①地図と営農情報を一括で管理

圃場の位置情報（座標データ）とExcelデータを紐づけて管理できます。記録した情報は地図上でわかりやすく“見える化”ができます。



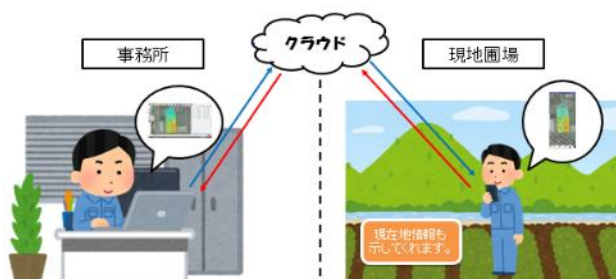
色で管理項目を判別！



見たい項目を文字で表示！

③クラウド上で情報共有

データをクラウド上に保管することで、複数名で共有できます。また、アプリ版では事務所－圃場間の情報共有が可能になります。



2. 県内の普及状況

令和6年10月末現在、秋田県内では101ID（アカウント）の会員に導入いただいています。

※全国では1,974ID（アカウント）の会員で導入済み

3. Z-GISでお悩みを解決！



Q 1. 白地図を用いて作付計画を作成しているケース

毎年大きい白地図を広げて作付計画作成。手書きできる項目は限られるし作成するのに一苦労…



＜白地図を利用した手作業事例＞

- ①次年度営農計画の策定（作付作物と圃場選択）
- ②ブロックローテーションとエリア調整
- ③農地管理や作業受委託の圃場確認 ほか

Z-GISに切り替えることで、圃場毎の作業内容を記した地図を簡単に作成できるため、計画作成がラクになります。



Q 2. 法人化にともない作業員が増えたケース

作業員が増えるにつれて作業指示が円滑に伝わらなくなった。違う圃場で作業するなどのミスが増えてきた。



左図は田植予定日と作業者を表示させた例です。
3項目まで表示可能(スマートフォン・タブレット版は2項目まで)です。

また、プリンタがあれば文字を表示したまま印刷でき、作業指示書として使用できます。



Q 3. 法人化や近隣からの作業受託により管理圃場が増えてきたケース

管理圃場が年々増えてきて圃場の場所や作業が覚えきれない。また、作業代金や賃借料の支払のための管理が大変…

Z-GISを利用すれば、圃場を”見える化”できます。また、Excelをベースとしているため、管理したい項目を自由に編集できます。

(品目、品種、定植日、散布日、土地所有者、作業者 e t c...)



4. 県内の活用事例

農事組合法人 坊沢宮農組合（ＪＡ秋田たかのす管内）

農事組合法人 坊沢宮農組合(以下、坊沢宮農組合)は、区画整備を契機に6つの集落からできた農業法人です。

農地を守り、地域集落の維持発展を目指して、共同防除などによる多角的経営および後継者の育成にも取り組んでいます。当法人では水稻のほか大豆、えだまめを作付けしており、総面積97haの広大な農地を管理するため、2022年度よりZ-GISを導入しています。



Z-GISを操作している様子

◆導入した経緯

紙地図上で各圃場を品種ごとに色分けしていましたが、管理する圃場数が300筆を超え、生育状況などを把握していくことが紙地図では大変になったことから、圃場管理システムを探していたそうです。

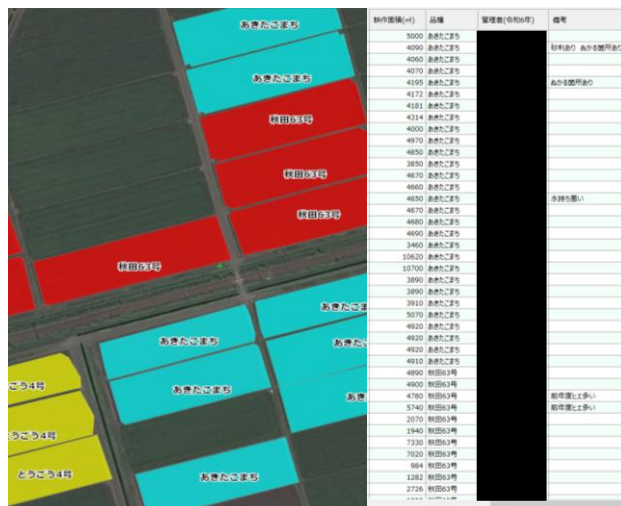
上記の相談をいただき、本会より比較的安価で操作感も良いZ-GISを提案して導入に至りました。

◆Z-GISの使い方

①営農計画の策定：品種や作付面積、管理者等の基本的な情報をシステムに記録し、Z－GISをベースに当年度の営農計画を立てていく。

②作業記録：作付日、施肥日等を記録し、当法人では
備考欄に圃場の特徴も記録。

③来年度への対策：①②を経て、作業の実施内容をZ-G I Sに記録し、来年度の対策を作業員同士で考え、共有する（ぬかりやすい、ヒエが多い等）。



◆感想～Z-GISの魅力について

スマホでも操作ができるため、空いた時間や圃場に行ったときに記入できるのは非常に良い点であり、Excel形式でデータを管理できるため必要な項目を自在に編集できることや利用料金が安い点も魅力との評価をいただきました。

また、当年度に記録した圃場の特徴や生育状況をもとに来年度の対策を考え、P D C Aサイクルを回し、将来的には併用しているザルビオフィールドマネージャーとの連携を行いたいと考えているとのことでした。

(参考)

1. 料金、申し込み等

①利用料金

会員種別	対象者	登録圃場数	利用料金	クラウドストレージ
一般会員	1.JAの正組合員・准組合員、農業法人、集落営農組織、農業生産者 2.JA、連合会	登録 100圃場まで	2,640円（税込）/年	1GB （登録100圃場ごと）
		登録 2000圃場以上	52,800円（税込）/年	20GB
特別会員	公的機関、JAグループ 以外の企業・団体 （Z-GIS管理部が認め た者）	—	66,000円（税込）/年	20GB

入会初年度の場合は登録100圃場ごとに月額220円（税込）、登録2,000圃場以上は月額定額4,400円（税込）、特別会員は月額定額5,500円（税込）とし、入会月の翌々月～翌年3月までの利用料を入会月の翌々月に請求します。

利用料金の請求は年1回とし、毎年4月～翌年3月までの利用料を、当年4月に請求します。

②ダウンロード方法

PC版は公式ホームページから、スマートフォン・タブレット端末用アプリはApp Store、Google Playからダウンロードしてご利用してください。

公式ホームページURL

<https://z-gis.net/99/index.html>

アプリ
は
こちら

App Store



Google Play



③1か月間お試し版

「Z-GIS」は1か月間無料でご使用いただけます。使用許諾契約書に同意いただいたうえで、Z-GIS（PC版）をダウンロード後、公式ホームページ上の「無料で試す」ページに公開中の「1か月間お試しID」をログイン時に入力することで31日間、だれでも1度だけ利用可能です。

「無料で試す」ページURL

<https://z-gis.net/99/get-started/index.html>

ただ今、お得なキャンペーンを実施中！
詳しくは9ページをご覧ください。

スタートアップ
ガイド

ユーザー
インタビュー

2. YouTubeで動画公開中

YouTubeに動画を公開しています。「Z-GIS」と検索いただくと、スタートアップガイド・ユーザーインタビューがすぐに見つかります。QRコードからもアクセス可能です。



営農支援部 営農支援課 ☎018-880-1011



営農支援情報

大規模農家の皆様へお得なご提案！

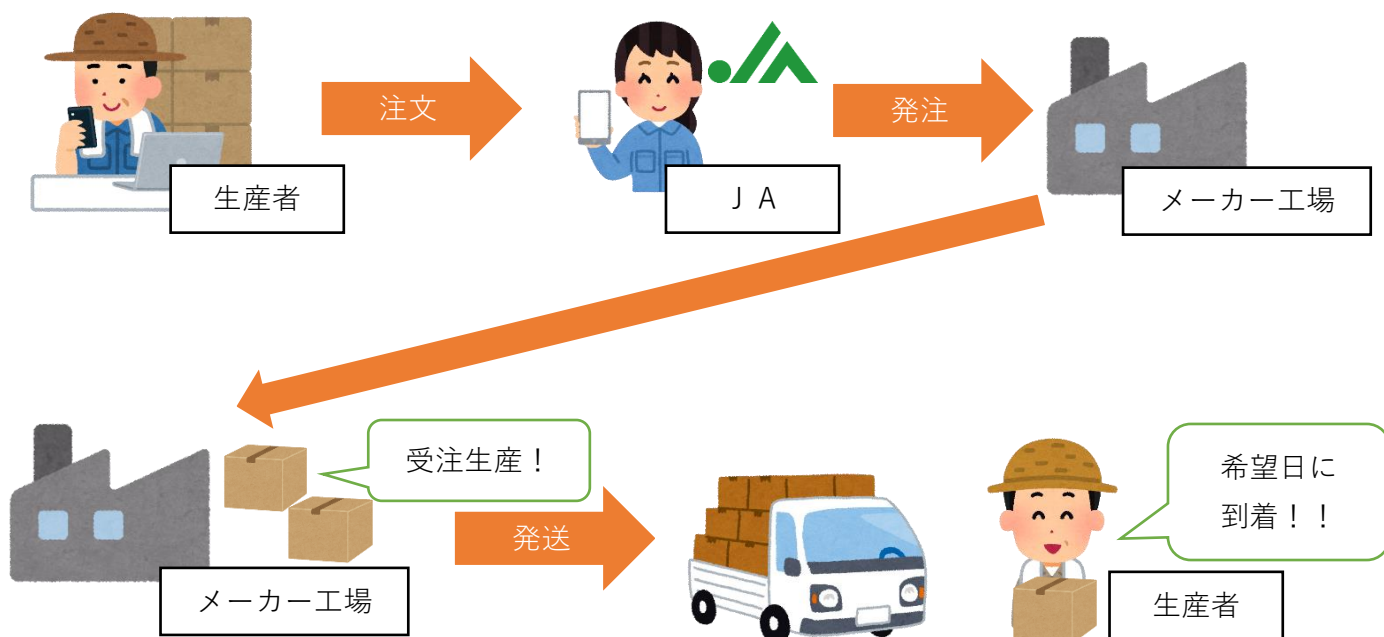
『担い手直送規格農薬』のご紹介

「担い手直送規格農薬」とは、大型規格よりも更に大きな規格で、通常規格よりも低価格な大規模農家向けの規格です。ＪＡグループでは「農家手取り最大化」に向けた農薬分野でのコスト低減を目指し、大規模農家の皆様が低価格を実感できる特別大型規格品をご用意しています。

「担い手直送規格農薬」はスケールメリットに加えて、受注生産およびメーカーからの直接配送などの徹底した物流コストの削減により、お得な農薬をお届けします。

(※注文期間・配達期間が限定されている商品となります)

注文からお届けまでの流れ



担い手直送規格農薬はとってもお買い得！！
目印は【統一ロゴマーク】メガぞう君！



メガぞう君

※詳細については、お近くのＪＡへお問い合わせください。

“受注生産”、
“メーカー工場からの
直接配送”で
お求めやすい価格を実現!!



次年度も引き続き、
積極的なご活用を
お願いいたします!!

担い手直送規格

全力結集!!
おかげさまで **全国30万ha**
使用されています!!



担い手直送全国普及面積



※全農農業年度JA供給実績(12-11月) ※2023年7月末実績

注文期間・配送期間が設定されています。以下ご注意のほどお願いいたします。

☒ 納期変更・数量変更・キャンセル不可 ☒ 締切厳守

詳しくは、お近くのJAへお問い合わせください!!

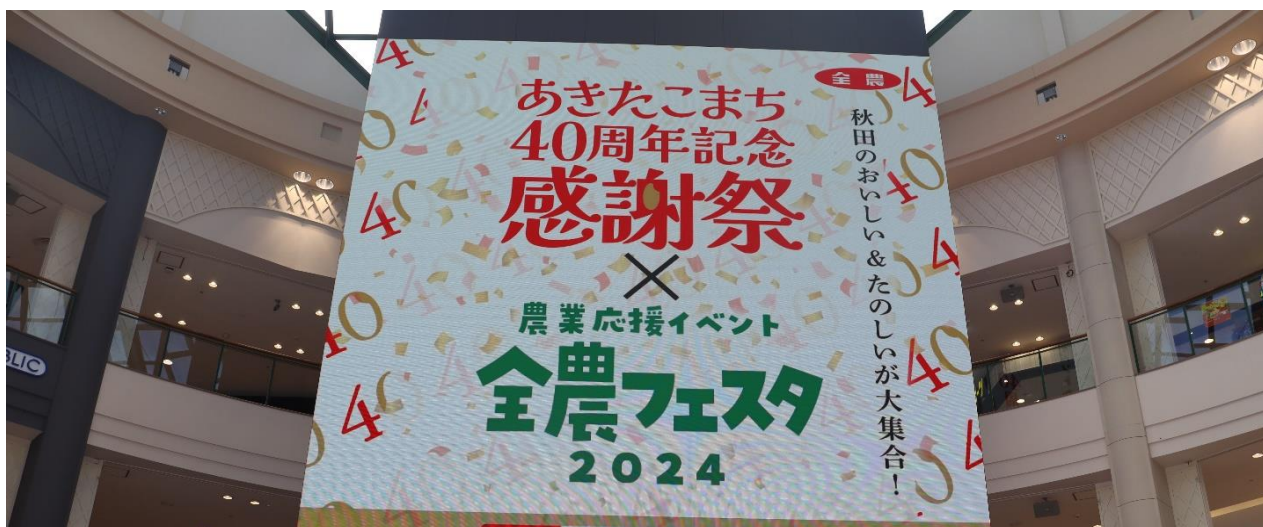


登録商標 第4702318号

ご紹介

同時開催！

「あきたこまち40周年記念感謝祭」 & 「全農フェスタ2024」



ＪＡグループ秋田・ＪＡ全農あきたは、あきたこまちが2024年9月7日でデビュー40周年を迎えることを記念し、40年間支えてきてくれた生産者・消費者の方々に感謝を伝えるあきたこまち40周年イベント「あきたこまち感謝祭」と今年で3回目となる「農業応援イベント全農フェスタ2024」を秋田市にあるイオンモール秋田で同時開催し多くの来場者で賑わいました。

オープニングセレモニーでは、ＪＡ全農あきた運営委員会小松忠彦会長が「あきたこまちが40周年を迎えられたのは生産者の皆さんのおかげであることに感謝し、これからも安心安全なお米を届けていきます」とあいさつしました。



オープニングセレモニー



なまはげ太鼓による演奏



お米、野菜、花きなど秋田の農産物が勢ぞろい！

「フードバンクあきた」へ秋田県産食材を贈呈 ～フードドライブで集められた食品も提供

J A全農あきたは11月12日、一般社団法人フードバンクあきたへ秋田県産あきたこまち精米600kgとジュース「のむりんご」40箱を贈呈しました。また、J A全農あきたと県内全農グループ会社の職員が、自らの行動により経済的に困窮する家庭への食を通じた支援につなげようと家庭で余った食品を集めて支援が必要な人に届ける「フードドライブ」に取り組み、集められたレトルト食品やお菓子、飲料などを提供しました。



(写真左から：一般社団法人フードバンクあきた林多実代表理事、J A全農あきた椎川浩県本部長)



贈呈式で、J A全農あきたの椎川県本部長は「県内の食の支援を求める方々に対し、県産農畜産物の生産に関わり秋田の食に携わる組織として少しでも力添えできればと思い贈呈した。日々の生活に役立ててもらいたい」と話しました。

今回贈呈した県産食材等は、社会福祉協議会等を通じて子ども食堂を運営する団体などへ届けられます。

今ならお得なチャンス！
はじめようスマート農業キャンペーン

日々の作業を
効率化しませんか？ **2024年12月1日 ▶ 2025年3月31日**

営農情報を地図で可視化！

Z-GIS
全農 営農管理システム



入会者 (新規のみ)

利用料 **無料**

ご加入から **4カ月目まで**

例：2月15日申込の場合、5月末までの利用料が無料

申込みは
Z-GISホームページ……→
または専用申込書から



Z-GIS 初級者向け WEB講習会開催

12月から毎月開催！メールでご案内

キャンペーン期間中の入会者向けZ-GISの初級WEB講習会を開催
 1月16日、1月23日、2月13日、2月20日 ※すべて16:00～1時間

Z-GIS 全農 営農管理システム **でできること**

1 管理項目別に色分けや抽出が可能！



2 管理項目を地図上に表示！



3 1kmメッシュ気象情報を確認可能！



4 スマホからも簡単入力可能！



利用料金は、100圃場ごと月額220円(税込) **費用を抑えて圃場管理が始められます！**

【お問合せ】JA全農耕種総合対策部スマート農業推進課 TEL03-6271-8274 ✉ zz_zk_smart@zennoh.or.jp

Za・あぐりふぉーむ
 Zennoh-akita agriculture+reform

JA全農あきた営農情報誌 Za・あぐりふぉーむ
 第58号 令和6年12月5日発行

編集・発行 JA全農あきた営農支援部営農支援課 〒011-0901秋田市寺内字大小路207の24 018-880-1011

9